

経営比較分析表

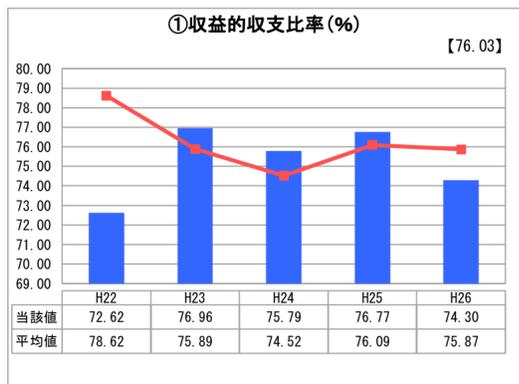
青森県 佐井村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.07	3,555

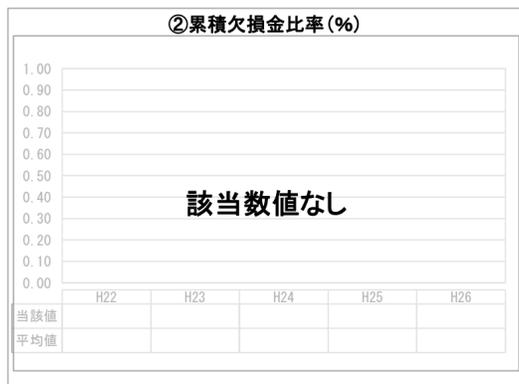
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,292	135.04	16.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,241	57.10	39.25

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



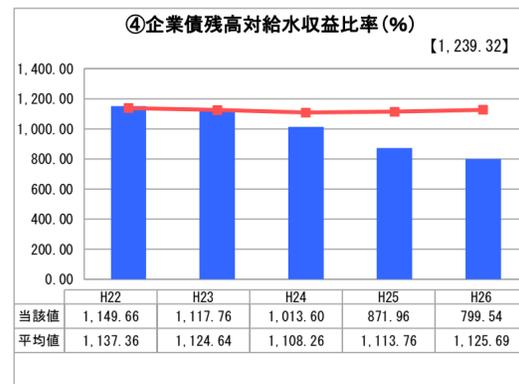
「単年度の収支」



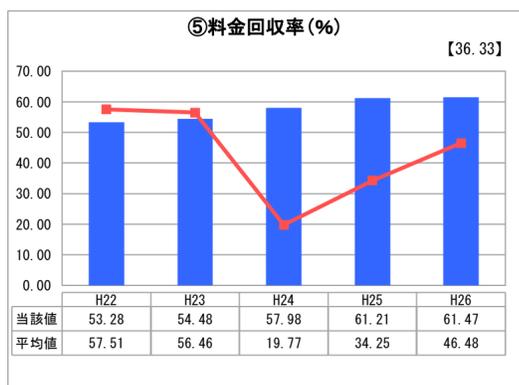
「累積欠損」



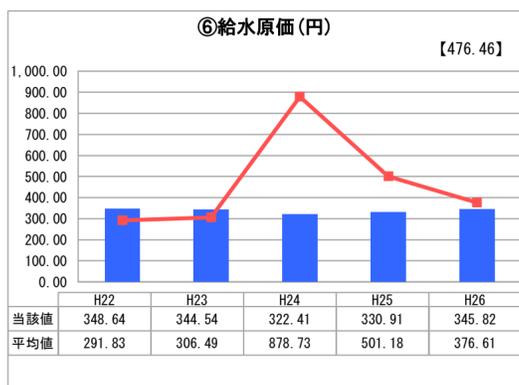
「支払能力」



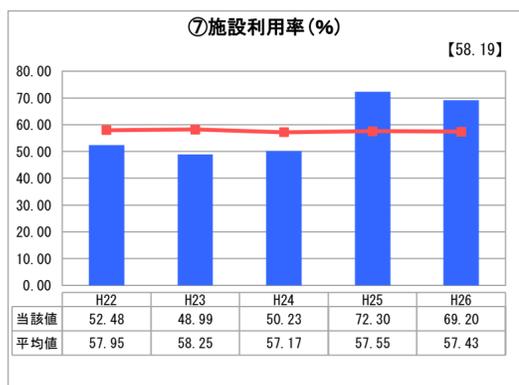
「債務残高」



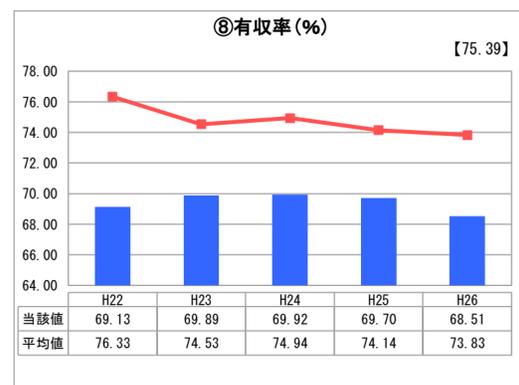
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

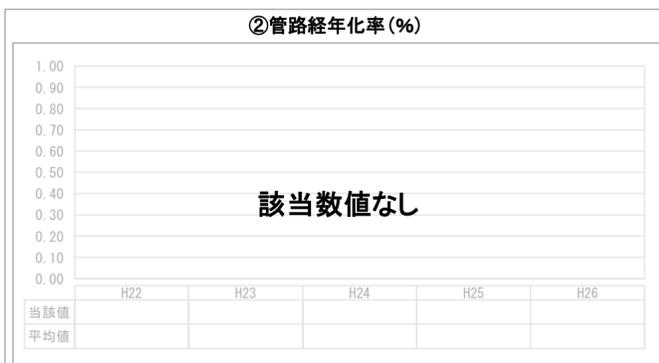


「供給した配水量の効率性」

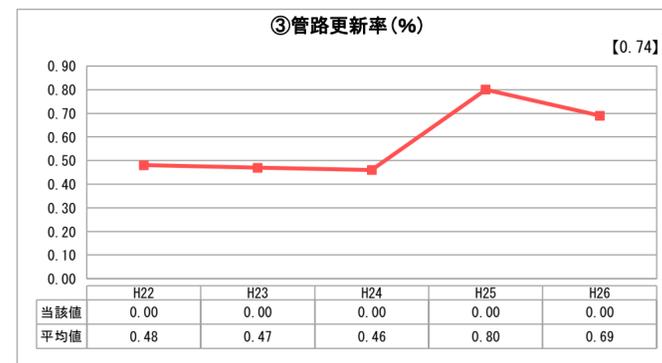
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

給水人口の減少に伴う料金収入が減少する中で、過去に実施した施設建設費に係る地方債の償還が平成42年度まであり、繰入金投入により経営が成り立っている現状です。料金には、施設更新投資等に充てる財源を見込んでいないため、大規模改修時には補助金や繰入金に依存しています。今後も更なる費用の節減に努めるほか、計画的な料金改定を実施しながら経営の改善を図ります。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率が高い箇所もあり、有収率の低さを考慮すると今後は管路更新の状況や時期を把握しなければならぬ状況にあります。長寿命化対策の実施も必要です。また管路更新の実施に伴う財源の確保にも努めなければなりません。

全体総括

- 1.給水人口の減少に伴う料金収入の減少が著しいため、計画的な料金改定を実施しなければならない。
- 2.過去に実施した建設費に係る起債の償還が経営を圧迫している。
- 3.1.と2.の影響により繰入金投入で経営が成り立っている。
- 4.管路や施設の経年化率が高い箇所があり、財源を確保しながら計画的に管路および施設の更新を実施する必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。